

平成29年度下半期の総合防災訓練の実施結果について

1 秋の避難所総合訓練

(1) 実施日時等

ア 日時 平成29年11月12日(日) 午前10時から正午まで

イ 場所 駒本小学校

ウ 参加者

No.	所属	人数
1	区民防災組織(駒本小学校避難所運営協議会役員)	42
2	区民(体験型訓練参加)	135
3	学校教職員・PTA役員	12
4	防災関係機関等 医師会・歯科医師会・薬剤師会・消防署・消防団・警察署・手話会・ アマチュア無線・日本郵便・東京都トラック協会・東海リース(株)	52
5	区職員	32
合計		273

(2) 訓練テーマ 「物資の活用」

(3) 訓練内容

ア 避難所運営訓練

学校施設を使い、避難者を受け入れる準備をするとともに、地域の特性に応じた訓練を企画し、避難所運営協議会員を中心として実施した。

No.	役割	訓練内容
1	本部室	避難所本部開設、通信訓練、被害状況把握、避難所運営ゲーム(HUG)を活用した図上訓練
2	総務情報班	避難者受付、情報の集約・把握・掲示、災害特設公衆電話設置
3	避難者援護班	校内の安全点検、居住スペース設営、避難者相談コーナー
4	救護衛生班	医療救護所設営、トイレ設営
5	給食物資班	炊き出し、備蓄倉庫管理、給水訓練、備食物資展示、物資搬送及び物資振分訓練

イ 体験型訓練

消火訓練、煙体験、防災体験ツアー、応急救護訓練、災害時用仮設トイレ設置訓練

ウ 展示ブース

本郷消防署、駒込警察署、日本郵便株式会社、文京区アマチュア無線局非常通信連絡会、区(防災課、地域整備課)

(4) 実施結果

災害時協定を締結している(一社)東京都トラック協会文京支部及び東海リース(株)とともに実災害に即した訓練を実施した。

東京都トラック協会文京支部とは、救援物資の輸送から避難所への搬入まで、流れの訓練を実施した。また、東海リース(株)とは災害時用仮設トイレの設置及び展示による連携訓練により、相互に効果的な訓練を実施した。

2 冬の避難所総合訓練

(1) 実施日時等

ア 日時 平成30年1月28日(日) 午前10時から正午まで

イ 場所 第八中学校

ウ 参加者

No.	所属	人数
1	区民防災組織(第八中学校避難所運営協議会役員)	32
2	区民(体験型訓練参加)	73
3	学校教職員・PTA役員	4
4	防災関係機関等 医師会・歯科医師会・薬剤師会・消防署・消防団・警察署・手話会 アマチュア無線・日本郵便	48
5	区職員	36
合計		193

(2) 訓練テーマ 「冬の寒さ対策」

(3) 訓練内容

ア 避難所運営訓練

学校施設を使い、避難者を受け入れる準備をするとともに、地域の特性に応じた訓練を企画し、避難所運営協議会員を中心として実施した。

No.	役割	訓練内容
1	本部室	避難所本部開設、無線通信訓練、安全点検、被害状況把握訓練、避難所運営ゲーム(HUG)を活用した図上訓練、感染症予防・健康管理対策訓練
2	総務情報班	避難者受付(一次受付)、避難者名簿作成、情報の集約・把握・掲示、災害特設公衆電話設置訓練
3	避難者援護班	寒さ対策コーナー、校内の安全点検、居住スペース設営訓練、避難者相談コーナー、プライベートスペースの確保、暗所体験(灯りの確保訓練)
4	救護衛生班	医療救護所設営訓練、トリアージ補助訓練、感染症予防・健康管理対策訓練、応急手当、トイレ設営訓練
5	給食物資班	炊き出し訓練、備蓄倉庫管理、給水訓練

イ 体験型訓練

消火訓練、煙体験、防災体験ツアー、応急救護訓練

ウ 展示ブース

本郷消防署、駒込警察署、日本郵便株式会社、文京区アマチュア無線局災害非常通信連絡会、区(防災課)

(4) 実施結果

避難所における寒さ対策を題材に、「東京防災」を活用し、新聞紙等の日常品や備蓄物資でできる寒さ対策の紹介を行った。また、災害時に電気が止まった際の暗さを体験し、備蓄用の懐中電灯や投光器を用いて、灯りの大切さを強く周知した。

さらに避難所における感染症予防・健康管理対策に焦点を当て、受付での感染症罹患者を隔離部屋に早期誘導するなど避難所での感染防止の必要性を参加者に認識させることができた。平成30年4月以降に開局予定の臨時災害FM放送局の試験放送を行い、実災害時の運用方法の確認及び周知を行った。